

地域連携センター一年報

第 16 号（令和 4 (2022) 年度）



愛知県立大学
Aichi Prefectural University

報 告 書 目 次

地域連携センター年報第 16 号(令和 4(2022)年度)の 刊行にあたって	1
1 組織と運営	2
2 地域連携センター活動状況	6
3 教員等による地域貢献	
(1) 自治体等への委員及び講師派遣	9
(2) 教員等による地域貢献の取組実績	10
4 公開講座	
(1) 学術講演会	13
(2) 愛県大アカデミックデイ	14
(3) 連続公開講座	15
(4) 地域連携事業	16
＜公開講座＞	17
＜地域貢献活動＞	39
5 自治体等との連携	
(1) 愛知県	40
(2) 長久手市	46
(3) 知立市	48
(4) 高大連携	49
(5) その他	50
(6) 連携協定	52
6 参考資料	53

地域連携センター年報第 16 号（令和 4(2022)年度）の刊行にあたって

2021 年、令和 3 年 4 月 1 日から地域連携センター長を仰せつかり、2 年目となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は 2019 年 12 月初旬に第 1 例目の感染者が報告され、わずか数カ月ほどの間に世界的大流行となりました。まだまだ油断はできませんがこの流行も収束に向かいつつあります。本学の最寄り駅「愛・地球博記念公園（AI・Chikyu-haku Kinen Koen Station）」も、以前のように本学学生・教職員が戻りつつあります。またジブリパーク来園者（昨年 11 月 1 日開園）の笑顔があふれています。

さて、この 3 年間は感染拡大防止の観点から外出行動の抑制や 3 密（密閉・密集・密接）を避けた行動が奨励されました。この奨励の中でも国民生活や経済活動を維持するため、これまではデジタル化が進んでいなかった領域を含め、デジタル技術、インターネットを活用した学び改革、働き方改革が広がることとなりました。

愛知県立大学、地域連携センターもデジタル化に対応し、公開講座等のイベント開催、学内はむろん学外の方との打ち合わせ等も止めることなく実施してきました。デジタル化に対応することで、本センターの手段の選択肢を増やすことができました。「禍転じて福となす」「怪我の功名」「塞翁が馬」というところでしょうか。

大流行中であってもデジタル関連の研究開発は進みました。昨年 11 月に公開された対話型 AI（人工知能）サービス ChatGPT はその賢さから様々な議論を巻き起こしていますが、AI を使うことは特別ではない時代がやってきたようです。新技術はまずは使ってみるの原則で ChatGPT に「地域連携とは」と尋ねてみました。

“地域連携とは、ある地域内の様々な組織や団体が協力して、地域全体の発展や課題解決を目指すことを指します。具体的には、自治体、産業界、商工会議所、地元の NPO や市民団体、大学などが連携し、地域の課題解決や地域活性化、地域の魅力向上などに取り組むことが挙げられます。地域連携は、単一の団体や組織だけでは解決できない複雑な課題に対処するために必要とされ、地域の人々の協力と連携が不可欠な役割を果たします。”（原文まま、2023 年 2 月 18 日、16 時 21 分）

と、地域連携センター規程に書いてあることが網羅されている回答が表示されました。驚くことに、末文には、地域連携センターが日頃から意識している、課題解決には地域の人々との協力と連携が不可欠であることも書かれています（ちなみに奥田隆史と尋ねると、作家になっていました。これが AI の危険なところですね）。

この 1 年間も学内外の様々な皆様のご協力により年報に記載したイベントを多数実施することができました。また地域の課題解決に取り組むきっかけを積極的に探るために、まずは地域の課題を当事者から伺い、学内で課題をシェアすることを目的として MAPU（Make a Problem-solving Unit, Meeting on a Problem-solving Unit, Make シン Aichi Prefectural University, Move Aichi Prefectural University, Metaverse Aichi Prefectural University）と称するイベントを始めました。その結果、地域の諸問題を組織的に解決する目的で

- 愛知県立大学・知立市 包括連携協定（2023 年 2 月）
- 愛知県立大学・日進市教育委員会連携協定（2023 年 3 月）
- 愛知県立大学・長久手市教育委員会連携協定（2023 年 3 月）

を締結しました。さらに愛知工業大学・地域防災研究センターとは、防災士養成講座を開講することができました。

1 年間の取組を本年報に詳細に記録しておりますので、ぜひご覧になり、忌憚のないご意見・ご鞭撻をお寄せいただければ幸いです。

2023 年 3 月末日

愛知県立大学地域連携センター長 奥田隆史

1. 組織と運営

地域連携センター紹介

○地域連携センターの機能

当センターは、愛知県や他の自治体、産業界、大学・研究機関、地域社会等と連携して、本学の研究成果を社会に還元し、地域の課題解決や活力創出に貢献するため、

- ① 対外的な窓口
- ② 情報の集積・発信
- ③ 事業の立案・実施
- ④ コーディネート及びサポート

という機能を果たします。

○窓口としての機能

教員や学生団体へのコーディネート

自治体からの委員や講師依頼、連携事業の要望に対して、当センターが窓口となり、本学教員や学生団体へのコーディネートやサポートを行っています。

○情報の集積・発信

地域連携に関する情報の一元化

地域連携に関する情報の一元化を図るため、年間の活動を掲載したイベントカレンダーや「愛知県立大学地域連携センターリーフレット」、「地域連携センター年報」等の作成や配布及び当センターウェブサイトでの情報発信を行い、本学の地域連携に関する情報の集約や発信を行っています。各配布物につきましては、当ウェブサイトや愛知県立大学長久手キャンパス図書館などでご覧いただけます。

愛知県立大学地域連携センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知県立大学学則第6条の規定に基づき設置される地域連携センター（以下「センター」という。）の運営に関する基本的事項について、定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、地域連携活動を円滑かつ組織的に推進することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

- (1) 行政機関との連携（研究活動を除く。以下第5号まで同じ。）に関すること。
- (2) 他大学・研究機関等との連携に関すること。
- (3) 産業界との連携に関すること。
- (4) 小・中・高等学校等との連携に関すること。
- (5) NPO等各種団体との連携に関すること。
- (6) 学術講演会、公開講座の企画・立案・実施に関すること。
- (7) 学術文化交流センターの管理・運営に関すること。
- (8) その他センター長が適当と認めた業務

(センター長)

第4条 センターに、センター長を置く。

2 センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。

3 センター長の任期は3年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることはできない。

また、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 センター長に事故がある場合は、センター長が予め指名したセンター長補佐がセンター長の職務を代理する。

(センター長補佐)

第5条 センターに、センター長補佐を置くことができる。

2 学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長補佐を指名することができる。

3 センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。

4 センター長補佐の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることはできない。

また、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議)

第6条 センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。

2 センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。

- (1) センター長
- (2) 看護実践センター長
- (3) センター長補佐
- (4) 学術情報部長
- (5) その他センター長が必要と認めた者

3 運営会議はセンター長が召集する。

4 議長が必要と認める場合は、センター運営会議に研究推進局長を出席させ、その意見を述べさせることができる。

(庶務)

第7条 センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。

(補則)

第8条 この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附則

(施行期日)

この規程は、令和元年11月26日から施行する。

(任期に関する経過措置)

- 1 この規程の施行の際現にセンター長及びセンター長補佐の職にある者の任期については、改正前の規定を適用する。
- 2 この規程の施行の日から令和3年3月31日までの間にセンター長補佐の職に就いた者の任期については、改正後の規定にかかわらず、令和3年3月31日までとする。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

(要綱の廃止)

- 2 愛知県立大学産学連携推進室要綱は、廃止する。

令和4(2022)年度 地域連携センター運営会議構成員名簿

所 属	氏 名	学部等
議長（地域連携センター長）	奥田 隆史	情報科学部
看護実践センター長	深田 順子	看護学部
地域連携センター長補佐	鈴木 隆	外国語学部
地域連携センター長補佐	三宅 宏幸	日本文化学部
地域連携センター長補佐	久保田 貢	教育福祉学部
地域連携センター長補佐	ジメネス フェリックス	情報科学部
学術情報部長	日置 英鋭	事務部門

地域連携センター庶務

所 属	氏 名
研究支援・地域連携課長	河田 里恵
研究支援・地域連携課係長	三宅 貴子
研究支援・地域連携課主任	尾澤 隆敏
研究支援・地域連携課	稲生 由佳

2. 地域連携センター活動状況

月日	運営会議・委員会等	行事・活動
4月	5日 第1回センター運営会議(オンライン)	
	9日	認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	17日	学術講演会「対話の時代に向けて」
	27日 認知症カフェスタッフミーティング	
5月	11日 あいちSTEM能力育成事業「知の探究講座」第1回推進会議	
	12日～18日 第2回センター運営会議(メール)	
	14日	認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	23日 愛・地球博記念公園と愛知県立大学との包括連携協定に関するフォローアップ会議	
	25日 認知症カフェスタッフミーティング	
	29日	公開講座「ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.1」
6月	1日 令和4(2022)年度第1回大学連携連絡調整会議	
	8日 第3回センター運営会議(オンライン)	
	11日	認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	15日	公開講座「ポリフォニーの世界への窓Ⅰ：花岡から考える中国人強制連行」
	16日 東部丘陵生態系ネットワーク総会	
	26日	公開講座「ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.2」
	29日 認知症カフェスタッフミーティング	公開講座「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？排除と排斥を考える」
7月	6日	公開講座「和装本講座」
	9日	認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	10日	連続公開講座「県大アゲイン」第1回
	13日～14日 第4回センター運営会議(メール)	
	16日	公開講座「愛知県立大学大学院コミュニティ通訳学コース・キックオフセミナー：『コミュニティ通訳の人材育成にむけて』」
	17日	連続公開講座「県大アゲイン」第2回
	23日	知の探究講座開講式
	24日	連続公開講座「県大アゲイン」第3回
	27日 認知症カフェスタッフミーティング	
8月	2日	知立市の課題を聴く会(MAPU)
	6日	認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	21日	公開講座「ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.3」(9/19に変更)
	21日	公開講座「異文化『終活』セミナーその3」
	23日	わくわく体験リニモツアーズ2022
	23日～26日	知の探究講座(第1期)
	30日	公開講座「発達障がいフォーラム(新しくなったWISC-Vを教育の現場でどう活用できるか)」
	31日 認知症カフェスタッフミーティング	

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
9月	1日	第5回センター運営会議(オンライン)	
	10日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	19日		公開講座「生涯発達研究所講演会(多様性が生きるインクルーシブ保育と子どもの育ち)」
	28日	認知症カフェスタッフミーティング	
10月	6日	第6回センター運営会議(オンライン)	
	8日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	11日	あいちスポーツコミッション研究会	
	12日		公開講座「若年性認知症のある方と語ろう」
	15日		公開講座「いま世界で起きていることーポピュリズムと向き合う」
	22日		知の探究講座(第2期)
	26日	認知症カフェスタッフミーティング	認知症サポーター養成講座
	29日		知の探究講座(第2期)
11月	1日～7日	第7回センター運営会議(メール)	
	5日		公開講座「2022年度第1回愛知県立大学世界史セミナー『ロシア・ウクライナ戦争の要因と展望』」
	7日	名古屋市大学連携懇談会(オンライン)	
	10日	長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
	12日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	16日		愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所《災害と文化財》講座 第7回「原爆の図」-よみがえる想い-(主催:愛知県立芸術大学)
	19日		公開講座「学生主体の大学広報活動:国際関係学科10年の取り組みの検討」
	19日		長久手市大学連携推進ビジョン4U「防災サバイバルフェス2022」
	23日		公開講座「ポリフォニー的世界への窓Ⅱ:『朝鮮学校と日本社会』」
	30日	認知症カフェスタッフミーティング	
12月	1日～7日	第8回センター運営会議(メール)	
	3日		公開講座「『不安』から照らす『生』の諸相 ことば・こころ・肉体 …建築家を招く『2022年の立原道造/建築の快楽』」
	4日		公開講座「文化財レスキュー・修復・防災の人材育成 水損資料をレスキューする方途を学ぶ」
	10日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	11日		愛知県政150周年記念連携イベント 「足元を見つめ、世界を想う 私たち一人ひとりの想像力と可能性」(実施協力)
	11日		愛知工業大学(地域防災研究センター) 学校防災シンポジウム2022「大学と地域防災」
	14日		あいちシルバーカレッジ専門コース①
	16日		公開講座「インドネシア現地経済事情講習会」
	23日		あいちシルバーカレッジ専門コース②

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
1月	5日	認知症カフェスタッフミーティング	
	5日～11日	第9回センター運営会議(メール)	
	8日		知の探究講座全体発表会
	13日		あいちシルバーカレッジ専門コース③
	14日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	18日		あいちシルバーカレッジ専門コース④
	23日		あいちシルバーカレッジ専門コース⑤
	24日～27日		公開講座「もっと知りたいインドネシア語講座(初～中級)」
	25日	認知症カフェスタッフミーティング	あいちシルバーカレッジ専門コース⑥
	26日	あいちSTEM能力育成事業「知の探究講座」第2回推進会議	愛知県地域づくり活動フォーラム
	27日		公開講座「第5 回国際セミナー 2023 年、世界の展望」
2月	2日～8日	第10回センター運営会議(メール)	
	11日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	14日		愛知県立大学映像制作ワークショップ10周年記念事業「映像人類学と大学教育」
	18日		公開講座「2022年度第2回愛知県立大学世界史セミナー『18世紀前半イギリスの鉄調達：外交と植民地政策』」
	18日、19日		愛知工業大学(地域防災研究センター)「防災士養成講座」
	20日	知立市との協定締結式	
	22日	認知症カフェスタッフミーティング	
3月	1日～7日		愛県大アカデミックデイ2022
	2日	第11回センター運営会議(オンライン)	
	8日		愛知工業大学(地域防災研究センター)「学生大防災会議」
	11日		認知症カフェ「喫茶オレンジ」
	23日	日進市教育委員会との協定締結式	
	26日		第2回フランス語圏アフリカ研究セミナー
	27日	長久手市教育委員会との協定締結式	
	29日	認知症カフェスタッフミーティング	
	30日	あいちスポーツコミッション研究会	

3. 教員等による地域貢献

(1) 自治体等への委員及び講師派遣

《自治体の審議会への委員推薦》

○愛知県

- ・リニモ沿線地域づくり会議委員 松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 教授）

○長久手市

- ・長久手市大学連携推進協議会委員 愛知県立大学地域連携センター長
長久手市大学連携連絡調整会議委員 松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
- ・長久手古戦場野外活動施設運営委員会委員 丸山 裕美子（日本文化学部歴史文化学科 教授）

《自治体等への派遣及び紹介》

○春日井市「かすがい熟年大学」(春日井市文化スポーツ部文化・生涯学習課)

- ・三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）

令和 4(2022)年 6 月 23 日（木）10：00～11：30

演題 「曲亭馬琴の世界－『椿説弓張月』の構想と為朝の造型－」

受講者数 62 名

- ・今野 元（外国語学部ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻 教授）

令和 4(2022)年 11 月 16 日（水）14：00～15：30

演題 「ドイツにとっての二つの世界大戦」

受講者数 108 名

《その他地域連携コーディネート及び連携事業》

- ・愛知県教育委員会（高大連携事業・連携協定）
- ・愛知県生涯学習推進センター（公開講座情報の提供、生涯学習講座講師名簿への情報提供）
- ・愛知県都市整備局交通対策課（リニモ沿線地域づくり会議、リニモツアーズへの協力）
- ・愛知県総務局総務部市町村課地域振興室（連携事業の実施）
- ・愛知県福祉局高齢福祉課（認知症パートナー大学、シルバーカレッジへの協力）
- ・愛知県スポーツ局スポーツ振興課（あいちスポーツコミッションへの参画）
- ・愛知県経済産業局産業部産業振興課（あいち健康長寿産業クラスター推進協議会への参加）
- ・愛知県環境局環境政策部自然環境課（東部丘陵生態系ネットワーク協議会への参加）
- ・愛知県陶磁美術館（パートナーシップ事業）
- ・徳川美術館（大学メンバーシップへの参加）
- ・名古屋市教育委員会（大学連携懇談会への参加）
- ・名古屋市中川区福祉部民生子ども課（災害対策事業協定）
- ・長久手市（大学連携推進協議会への参加、相互の事業の周知協力等）
- ・日進市生活安全部市民協働課（提案型大学連携協働事業の実施）
※令和 4(2022)年度は応募なし
- ・豊田市（共催公開講座の実施）※令和 4(2022)年度は中止
- ・公益財団法人 あいち産業振興機構（連携協定、あいち新事業活動促進連携会議への参加）
- ・瀬戸商工会議所（パソコン講習会の実施）※令和 4(2022)年度は中止

3. 教員等による地域貢献

(2) 教員等による地域貢献の取組実績

《カルチャーセンター講師》

○中日文化センター

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「徒然草を読む―兼好の思索の魅力」（令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月）

○朝日カルチャーセンター

愛知県立大学では、大学での教育研究の成果を県民や社会に対して還元するとともに、高度な要望や知的欲求など県民の多様なニーズに対応するため、朝日カルチャーセンターと提携講座を開催している。

【令和4(2022)年度提携講座】

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「兼好法師のつれづれなる生活―中世文学の世界」

（令和4(2022)年4月～令和5(2023)年3月）

【その他の講座】

伊藤 伸江（日本文化学部国語国文学科 教授）

「定家卿百番自歌合―夏の夜の狩の歌―」（令和4(2022)年6月）

「定家卿百番自歌合―生田の森の歌―」（令和4(2022)年9月）

「藤原定家歌語り―源氏物語「葉分けの露」の歌―」（令和4(2022)年12月）

「藤原定家歌語り―古今と万葉と「遠方人と梅が枝」の歌―」（令和5(2023)年3月）

三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）

「南総里見八犬伝」講読・講師

《生涯学習センター講師》

○名古屋市教育委員会緑生涯学習センター

秋田 貴美子（外国語学部国際関係学科 教授）

「ジェンダーを学び、自分らしく生きる」講師

○名古屋市熱田生涯学習センター

秋田 貴美子（外国語学部国際関係学科 教授）

「メディアに影響される私たちの生活と文化

～日本人のジェンダーコミュニケーション～」講師

《審議会等の委員》（公表されているものから一部抜粋）

- 愛知県 愛知県男女共同参画審議会、愛知県公益認定等審議会、愛知芸術文化センター運営会議、愛知県犯罪被害者等の支援に関する指針策定検討会議、次期あいち多文化共生推進プラン（仮称）検討会議、愛知県ひきこもり支援推進会議、愛知県医療審議会、愛知県教員の資質向上に関する協議会、愛知県都市計画審議会、自動車安全技術プロジェクトチーム、愛知県文化財保護審議会
- 長久手市 長久手市いじめ問題専門委員会、長久手市障がい者自立支援協議会、長久手市指定管理者選定委員会、長久手市地域保健対策推進協議会、長久手市都市計画審議会委員会、長久手市地域福祉計画等策定推進委員会、長久手市地域包括ケア推進協議会、長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議、長久手市文化財保護審議会、長久手市古戦場野外活動施設運営委員会
- 名古屋市 名古屋市博物館協議会
- その他 （国土交通省）社会資本整備審議会、岐阜県古代・中世寺院跡総合調査検討委員会、三重県公立大学法人評価委員会、岩倉市いじめ問題専門委員会、岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会、岩倉市子ども・子育て会議、瀬戸市障害者地域自立支援委員会、大府市多文化共生推進委員会、尾張旭市総合計画審議会

《その他》

- ・愛知県教育委員会・入学者選抜システム構築事業業務委託総合評価委員会委員
教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
概要：Iシステム評価に関する助言
- ・愛知県教育委員会・愛知県立学校校務支援システム構築業務委託総合評価委員会
教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
概要：Iシステム評価に関する助言
- ・令和4(2022)年度愛知県高等学校情報教育研究会顧問
教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
概要：情報教育に関する助言
- ・WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業運営指導委員会委員
教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
概要：探求型授業に関する助言
- ・日進市環境課
教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
概要：「にっしん環境市民討議会」、「にっしん環境リビングラボ」への参加
- ・岡崎読書会
教員：三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）
概要：曲亭馬琴に関する講演

- ・名古屋市立大学
 - 教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
 - 概要：「B3 グランプリ B3 Grand Prix K1 一目指せ公立の星★」企画運営顧問
- ・愛知淑徳大学
 - 教員：秋田 貴美子（外国語学部国際関係学科 教授）
 - 概要：愛知淑徳大学ビジネス学部・ビジネス研究科共催講演会
「グローバル人材の育成：国際ビジネスコミュニケーション～日米の経験から」の講演
- ・愛知県立半田高等学校
 - 教員：三宅 宏幸（日本文化学部国語国文学科 准教授）
 - 概要：出張講義「探求Ⅰ」
- ・JICA 中部
 - 教員：秋田 貴美子（外国語学部国際関係学科 教授）
 - 概要：20 か国以上の異なる国々を出身とする海外研修生（各国上級公務員、プロフェッショナル）に英語で日本の文化について講演（オンラインでの講演）
- ・公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
 - 教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
 - 概要：支部担当理事、中部支部監事
- ・公益社団法人 計測自動制御学会 先端電子計測部会
 - 教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
 - 概要：運営委員会 委員
- ・一般社団法人 電子情報通信学会
 - 教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
 - 概要：情報ネットワーク研究会専門委員
- ・WSCE2022（The 5th World Symposium on Communication Engineering）
 - 教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
 - 概要：TCP（テクニカル・プログラム委員）
- ・ICFCC2022（International Conference on Future Computer and Communication）
 - 教員：奥田 隆史（情報科学部情報科学科 教授）
 - 概要：TCP（テクニカル・プログラム委員）
- ・新政あいち県議団講演会
 - 教員：鈴木 隆（外国語学部中国学科 准教授）
 - 概要：「今後の中国情勢について」をテーマに講演
 - 教員：松宮 朝（教育福祉学部社会福祉学科 教授）
 - 概要：「食をめぐる生活環境 食の実践を通じた課題解決の可能性」をテーマに講演

4. 公開講座 (1) 学術講演会

令和4(2022)年度 学術講演会 実施結果

1. 講演名：対話の時代に向けて
2. 開催日時：令和4(2022)年4月17日（日） 13:30～15:30
3. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス L棟 講堂／S棟 S101 教室（視聴会場）／
オンライン
4. 講師：平田 オリザ 氏（劇作家・演出家・芸術文化観光専門職大学学長）
5. 参加者数：合計 299 名（講堂 63 名・S101 教室 23 名・オンライン 213 名）

【講演の様子(講堂)】



【チラシ】



【講演の様子(S101 教室)】



4. 公開講座

(2) 愛県大アカデミックデイ

令和 4(2022) 年度 愛県大アカデミックデイ 2022 実施結果

1. 日 時：令和 5(2023)年 3 月 1 日（水）～令和 5(2023)年 3 月 7 日（火）
2. 会 場：オンデマンド（Vimeo）／愛知県生涯学習推進センター（視聴会場）
3. 参加者数：130 名（内、愛知県生涯学習推進センターでの視聴者 4 名）

視聴数合計：455 回

4. コンテンツ：

○ 愛知県政 150 周年記念 SPECIAL CONTENTS

愛県大史 MOVIE「叡智の軌跡、未来につなぐ」

愛県大史——、過去と未来をつなぎ、愛知と世界をつなぎ、私たちの立ち位置を見つめるための短編動画です。

○ 教員による自由スタイルの研究発表

○ 研究所・プロジェクトチームの共同研究成果発表

○ ドクターズ・リターン（本学で博士号を取得した研究者の、その後の研究を発表）

○ 愛県大アカデミックデイ 2021 アーカイブ

○ お宝ビデオ（退職記念発表）

【チラシ】

【講演の様子】

4. 公開講座 (3) 連続公開講座

令和4(2022)年度 連続公開講座「県大アゲイン」 実施結果

1. 講座名：連続公開講座「県大アゲイン」
2. 日時：第1回 令和4(2022)年7月10日(日) 10:30～12:00
第2回 令和4(2022)年7月17日(日) 10:30～12:00
第3回 令和4(2022)年7月24日(日) 10:30～12:00
3. 会場：愛知県立大学サテライトキャンパス／オンライン
4. 参加者数：第1回 70名 第2回 58名 第3回 77名 延べ 205名

講座内容・講師名

○第1回：受講者数 70名

テーマ	人生100年-世界一長寿国日本の衣食住の秘密-
講師	湯海鵬氏 教育福祉学部社会福祉科



○第2回：受講者数 58名

テーマ	働くこと、怠けること —19世紀アメリカ文学における労働のイメージ—
講師	木全 滋氏 外国語学部英米学科



○第3回：受講者数 77名

テーマ	城下町名古屋の建設と瀬戸
講師	大塚 英二氏 日本文化学部歴史文化学科



【センター長挨拶】



【チラシ】



4. 公開講座

(4) 地域連携事業

令和4(2022)年度実施 地域連携事業リスト

	公開講座	種別	開催日	参加人数		頁数
				対面	オンライン	
1	ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.1	主催	5/29	20	—	17
2	ポリフォニー的世界への窓Ⅰ 花岡から考える中国人強制連行	共催	6/15	116	—	18
3	ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.2	主催	6/26	12	—	19
4	人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？ —排除と排斥を考える—	主催	6/29	122	44	20
5	和装本講座	共催	7/6	37	—	21
6	愛知県立大学大学院コミュニティ通訳学コース・キックオフ セミナー『コミュニティ通訳の人材育成にむけて』	共催	7/16	26	205	22
7	異文化「終活」を考えるセミナー（その3）	共催	8/21	—	45	23
8	発達障がいフォーラム （新しくなったWISC-Vを教育の現場でどう活用できるか）	共催	8/30	35	49	24
9	ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.3	主催	9/19	6	—	25
10	生涯発達研究所講演会 （多様性が生きるインクルーシブ保育と子どもの育ち）	共催	9/19	—	113	26
11	公開シンポジウム いま世界で起きていること —ポピュリズムと向き合う	共催	10/15	77	94	27
12	2022年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー 「ロシア・ウクライナ戦争の要因と展望」	共催	11/5	19	94	28
13	公開シンポジウム「学生主体の大学広報活動： 国際関係学科 10年の取り組みの検討」	共催	11/19	15	29	29
14	ポリフォニー的世界への窓Ⅰ 朝鮮学校と日本社会	共催	11/23	80	—	30
15	「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体 …建築家を招く「2022年の立原道造／建築の快楽」	共催	12/3	42	126	31
16	文化財レスキュー・修復・防災の人材育成 水損資料をレスキューする方途を学ぶ	共催	12/4	50	—	32
17	インドネシア現地経済事情講習会 新型コロナ禍の影響をインドネシア経済は克服できたのか	共催	12/16	—	69	33
18	もっと知りたいインドネシア語講座（初～中級）	主催	1/24	—	45	34
19	第5回 国際セミナー 2023年、世界の展望	主催	1/27	—	91	35
20	2022年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー 「18世紀前半イギリスの鉄調達：外交と植民地政策」	共催	2/18	18	52	36
21	愛知県立大学映像制作ワークショップ10周年記念事業 「映像人類学と大学教育：実践事例報告と今後の展望」	協力	2/14	—	120	37
22	第2回フランス語圏アフリカ研究セミナー	協力	3/26	20	—	38
	地域貢献活動		事業種別	開催日		頁数
1	愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」	共催		11/1~29		39

4. 公開講座

(4) 地域連携事業

<公開講座>

令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.1」
2. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
3. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年5月29日（日） 10:00～12:00
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 文化交流室 A
6. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
7. 参加者数：20名（一般）

【概要】

1960年代の日本の人気漫画を教材として利用し、ミドル・シニア対象に日常英会話の講義をした。「ゲゲゲの鬼太郎」「ひみつのアッコちゃん」「お化けのQ太郎」のテーマソングを英語で歌い、歌を通して英語の単語と表現を学習した。また、「ひみつのアッコちゃん」の家族の会話を英語に換え、英会話をペア練習した。この他、参加者は漫画のキャラクターの役をして、英語で自己紹介をするゲームも行った。

【講座の様子】



令和4(2022)年5月10日（火）、奥田地域連携センター長と秋田先生が、ラジオサンキューの番組「情報発信！愛知県」にゲストとして出演した。本学の公開講座の魅力や、秋田先生が講師として開催する公開講座「日常英会話リ・ラーニング」の紹介を行った。

【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業
公開講座

**ミドル・シニア向け
日常英会話
リ・ラーニング**

NO.1~3

【ご案内】
初級・中級・上級レベルの外国人観光客向けに、英語で日常会話の練習ができる講座です。英語が苦手な方でも、英語が上手な方でも、英語の勉強が楽しくなります。英語の勉強が苦手な方でも、英語が上手な方でも、英語の勉強が楽しくなります。

Content 内容
1960年代の日本の人気漫画を教材とし、日常英会話を学習します。また、漫画に登場する生活、文化、人間関係、ジェンダーに関して、1960年代と現代を比較し、変化した点を皆さんと英語でdiscussionします。

WHEN 開催日時
No.1 2022年5月29日（日）10～12時
discussion focus: 漫画の中のジェンダー関係
No.2 2022年6月26日（日）10～12時
discussion focus: 漫画の中の異文化描写
No.3 2022年9月19日（月・祝）10～12時
※定員が15名で定員超過のため、抽選で参加者を決定します。
discussion focus: 漫画の中に見られる異文化

WHERE 場所
愛知県立大学長久手キャンパス
学務文化交流センター2階 文化交流室A
リニモ「愛・地球博記念公園駅」南出口より徒歩5分

講師 & ワークショップ
ファシリテーター:
秋田 貴美子
愛知県立大学
外国語学部
国際関係学科 教授
経歴: 2001年～現在、愛知県立大学に在職し、英語教育に携わっています。2005～2014年、愛知県立大学長久手キャンパスで英語教育に携わっています。2002～2005年、愛知県立大学長久手キャンパスで英語教育に携わっています。2002～2005年、愛知県立大学長久手キャンパスで英語教育に携わっています。

対象: 一般（ミドル・シニア、特に、日常英会話の表現を学びたい、しばらく英語から離れて再学習したい方）
お申し込みの締切はご遠慮下さい。
定員20名程度（先着順）

申込み: 愛知県立大学
地域連携センターWebサイトの
専用ページより申し込みください。
Webサイト:
https://www.aic.ac.jp/region/center/

問い合わせ先:
愛知県立大学学務部
学務交流センター 地域連携課
Tel: 0561-76-0643
E-mail: aic@aic.ac.jp

【ラジオ出演の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「ポリフォニー的世界への窓Ⅰ
花岡から考える中国人強制連行」
2. 申請者：井戸 聡（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／人間の尊厳と平和のための人文社会
研究所／地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年6月15日（水） 13:30～17:00
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201 教室
6. 講師：田中 宏（一橋大学 名誉教授）
林 伯輝（旅日華僑中日交流促進会 代表）
中島 光孝（大阪・花岡中国人強制連行国家賠償請求訴訟弁護団）
7. 参加者数：116名（一般・学生・教職員）

【概要】

テーマを「花岡から考える中国人強制連行」と題し、日本であまり知られていない、前時期の日本への中国人強制連行問題を、最初の企業との和解である「花岡」を中心に取り上げた。2000年の和解の時に立ち会ったお二方である在日中国人の林伯耀氏、研究者として花岡に関わり続けている田中宏氏、さらに、大阪・花岡中国人強制連行国家賠償請求訴訟の弁護団の一人である中島光孝氏からお話を伺った。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和 4 (2022) 年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.2」
2. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
3. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
4. 開催日時：令和 4(2022)年 6 月 26 日（日） 10：00～12：00
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 文化交流室 A
6. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
7. 参加者数：12 名（一般）

【概 要】

1960年代の日本の人気漫画を教材として利用し、ミドル・シニア対象に日常英会話の講義をした。「ハクション大魔王」「あくび娘」「ゲゲゲの鬼太郎」の歌を英語で歌い、歌を通して英語の単語と表現を学習した。また、「ハクション大魔王」の会話を英語に換え、英会話を練習した。この他、この漫画の時代背景、生活、文化、人間関係についても学習した。

【チラシ】



関西立大学 地域連携事業
公開講座

英語版
ワークショップ
フリップタイター

ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング

【ご案内】
本講座は「ミドル・シニア」世代が英語を学びたいという希望に応じ、英語初心者、英語初級者のレベルからスタートします。
講座内容は、ミドル・シニア、人口が伸びる高齢者に役立つ英会話を中心に、日常生活で必要となる英会話を中心に学びたいという希望に応じ、英語初心者、英語初級者のレベルからスタートします。

NO.1~3



講師 秋田 貴美子
愛知電気大学
外国語学部
国際英語学科 教授
英語検定一級合格者として海外研修・対外「Deal Japan」を統括されている。2003～2004年米国ワシントン州立大学、2007～2008年米国ペンシルベニア州立大学で英語学を専攻。2007～2008年米国ペンシルベニア州立大学で英語学を専攻。2007～2008年米国ペンシルベニア州立大学で英語学を専攻。2007～2008年米国ペンシルベニア州立大学で英語学を専攻。

Content 内容

1980年代の日本の人気漫画を教材とし、日常英会話を学習します。また、漫画に登場する生活、文化、人間関係、ジェンダーに関して、1980年代と現代を比較し、変化を学ぶ機会と英語でdiscussionします。

WHEN 開催日時

No.1 2022年5月12日（水）10～12時
discussion 英語の中的ジェンダー問題

No.2 2022年6月26日（日）10～12時
discussion 英語の中的異文化探求

No.3 2022年9月10日（月・祝）10～12時
discussion 英語の中的異文化探求

WHERE 場所

京都市立大学長久寺キャンパス
京大交流センター2F 文化交流室A
〒615-8547 京大・地域研究記念公園内 京大出口より徒歩5分

申し込み

申し込み：愛知電気大学
地域連携事務局
お問い合わせ先：秋田 貴美子
Eメール: kikuchi@kansai-u.ac.jp
お申し込みはwww.kansai-u.ac.jp/~kenkyu/の
専用ページから申し込みください。

Webサイト

<https://www.kansai-u.ac.jp/~kenkyu/>
お問い合わせ先：秋田 貴美子
Eメール: kikuchi@kansai-u.ac.jp
お申し込みはwww.kansai-u.ac.jp/~kenkyu/の
専用ページから申し込みください。

【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？」
—排除と排斥を考える—
2. 申請者：山本 かほり（愛知県立大学教育福祉学部社会福祉学科 教授）
3. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年6月29日（水） 14:00～16:30
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S101 教室／オンライン
6. 講師：森達也 氏（映画監督・作家）
中村 一成 氏（ジャーナリスト）
7. 参加者数：166名（会場122名・オンライン44名）

【概要】

オウム事件をベースに撮ったドキュメンタリー映画『A』をベースに、現代日本社会を考えた。そこから、カルト宗教、死刑、メディアなど多岐にわたる問題提起がなされた。第1部は映画監督の森達也氏の講演、第2部は森達也とジャーナリストの中村一成氏の対談形式で進化した。

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学
Public Welfare University

公開講座 「人はなぜこんなに残酷になれるのだろうか？」
—排除と排斥を考える—

森達也(映画監督・作家)
中村一成(ジャーナリスト)

2022年6月29日(水)
14:00 - 16:30

参加費無料

会場 愛知県立大学長久手キャンパス S101 + オンライン
(会場定員: 100名)

申し込み・申し込み方法
申し込みは、愛知県立大学地域連携センターWebサイトから可能です。
申し込みは、愛知県立大学地域連携センターWebサイトから可能です。
申し込みは、愛知県立大学地域連携センターWebサイトから可能です。
申し込みは、愛知県立大学地域連携センターWebサイトから可能です。

令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「和装本講座」
2. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部／地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年7月6日（水） 14：00～16：30
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 小ホール
6. 講師：青木 眞美氏・上野 加耶子氏（西尾市岩瀬文庫 学芸員）
7. 参加者数：37名（一般・学生）

【概要】

和装本の歴史や保存についての話を交えながら、実際に和紙などの材料を使って和装本づくりのワークショップを開催した。

【講座の様子】



【チラシ】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「愛知県立大学大学院コミュニティ通訳学コース・キックオフセミナー『コミュニティ通訳の人材育成にむけて』」
2. 申請者：吉田 理加
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 准教授)
3. 運営種別：共催（愛知県立大学国際文化研究科／多文化共生研究所／地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年7月16日（土） 14:00～16:30
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S101 教室／オンライン
6. 講師：水野 真木子 氏（金城学院大学文学部 教授）
森田 直美 氏（全国医療通訳者協会 代表理事）
糸魚川 美樹（愛知県立大学外国語学部 准教授）
／大橋 充人（愛知県立大学 客員共同研究員）
土井 佳彦 氏（多文化共生リソースセンター東海 代表理事）
7. 参加者数：231名（会場26名、オンライン205名）

【概要】

本年4月に開設した国際文化研究科「コミュニティ通訳学コース」のキックオフセミナーとして、当該分野を代表する専門家に登壇していただき、対面・オンライン併用のハイブリッド形式で開催した。

【講座の様子】



【チラシ】

愛知県立大学
Aichi University

愛知県立大学大学院コミュニティ通訳学コース
キックオフセミナー

コミュニティ通訳の 人材育成にむけて

2022年度、国際文化研究科に開設した「コミュニティ通訳学コース」の開設に伴い、キックオフセミナーを開催します。日常におけるコミュニティ通訳の現状、課題、人材育成の必要性などについて、研究有識者の見解を基盤に据えて解説するだけでなく、コミュニティ通訳者養成の方法などについて解説します。

2022年7月16日(土) 14:00-16:30 オンライン(ZOOM)・対面併用開催
長久手キャンパスS101講義室（東海経済大学附属愛・徳経済記念会館地下棟602号）※参加費 無料

講師
水野 真木子 氏（金城学院大学 教授）
森田 直美 氏（全国医療通訳者協会 代表理事）
糸魚川 美樹 氏（愛知県立大学外国語学部 准教授）
大橋 充人 氏（愛知県立大学 客員共同研究員）
土井 佳彦 氏（多文化共生リソースセンター東海 代表理事）

申込方法
愛知県立大学地域連携センターウェブサイト
（URL: <http://www.aichi-u.ac.jp/kyoukaibu/kyoukaibu/kyoukaibu/kyoukaibu/kyoukaibu/>）
にアクセスいただき、登録ページより
お申し込みください。

お問い合わせ
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
TEL: 0561-76-8843
E-mail: tenkei@uraichi-pu.ac.jp

令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「異文化『終活』を考えるセミナー（その3）」
2. 申請者：山本 理絵（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター、
外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、
あいち多文化ソーシャルワーカーの会、
多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)）
4. 開催日時：令和4(2022)年8月21日（日） 13:30～16:30
5. 会場：オンライン
6. 講師：（趣旨説明）王 榮（木下 貴雄）氏
（外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト代表）
（登壇者）サラ・クレシ 好美 氏（名古屋モスク）
松浦 悟郎 氏（カトリック名古屋教区）
鶴野 智教 氏（株式会社ティア）
（司会）神田 すみれ 氏
7. 参加者数：45名

【概要】

主催者と報告者のみ、サテライトキャンパスに集まり、オンラインにて配信し実施した。在日外国人の「弔い」事情と題し、「モスク」、「教会」、「葬儀会館」、それぞれの立場から登壇者に報告いただいた。報告の後に、受講者からの質問に答える形で、討論が行われた。

【チラシ】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

- 事業名称：公開講座「発達障がいフォーラム
(新しくなったWISC-Vを教育の現場でどう活用できるか)」
- 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
- 運営種別：共催（愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター、
瀬戸市教育部学校教育課、
瀬戸市児童発達支援センター（発達支援室））
- 開催日時：令和4(2022)年8月30日（火） 13:00～15:00
- 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール／オンライン
- 講師：大六一志氏（放送大学 客員教授）
- 参加者数：84名（会場35名、オンライン49名）

【概要】

講師は日本で最も活用されている児童への知能検査であるWISCの刊行委員会メンバーの一人をお呼びした。WISCは現在、WISC-Vという第5版が2021年度に刊行され、指数のまともの変更などもあり、教育現場や医療現場でどのように活用を進めていけばよいか、現場のニーズがとても高い内容であった。

【チラシ】



発達障がいフォーラム

新しくなったWISC-Vは
教育の現場で
どう活用できるか

児童・生徒の知能を測定するツールとして広く活用されているWISCの日本版が2022年に第5版として改訂されました。これまでの第4版とどこが異なるのか、またその測定結果はどのように教育現場で活用できるのか。WISC-V刊行委員会のメンバーであり、放送大学客員教授の大六一志先生にお話をいただきます。

日時 2022年8月30日(火) 13:00～15:00

場所 愛知県立大学（オンライン併用）
学術文化交流センター地下1階 多目的ホール
（東三河緑地公園）愛・徳川博物館（地下準常設展示）

講師 大六一志氏（放送大学客員教授）
東京大学大学院人文科学系研究科心理学専攻修了
放送大学客員教授、WISC-V刊行委員会委員
著書『障害児・障害者心理学特論（改訂新版）：福祉分野に関する理論と支援の展開』放送大学教育振興会、2019年

参加費 無料 **申込先** 愛知県立大学 地域連携センター
URL: <https://www.kur.ac.jp/~psac.jp/renkei/regional/kenkou/0011320.html>
または右のQRコードよりお申し込みください。

定員 60名（現地）
（オンライン100名）

締切 8月22日（月） **お問い合わせ** 愛知県立大学 研究支援・地域連携課
E-mail: renkei@kur.ac.jp kyorichu@kur.ac.jp

【共催】 愛知県立大学（生涯発達研究所、地域連携センター）
瀬戸市教育部学校教育課、瀬戸市児童発達支援センター（発達支援室）

【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング No.3」
2. 申請者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
3. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年9月19日（月・祝） 10:00～12:00
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 文化交流室 A
6. 講師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
7. 参加者数：6名（一般）

【概要】

コロナ禍のため開催日が変更された上に、当日は大型台風接近の懸念もあったが、無事に開催することができた。1960年代の日本の人気漫画を教材として利用し、ミドル・シニア対象に日常英会話の講義をした。今回は「魔法使いサリー」の第一話を教材として利用し、「魔法使いサリー」の会話を英語に換え、英会話を練習した。この他、この漫画の時代背景、生活、文化、人間関係、西洋文化の影響についても学習した。また、「ゲゲゲの鬼太郎」「ひみつのアッコちゃん」「魔法使いサリー」の歌を英語で歌い、歌を通して英語の単語と表現を学習した。

【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業 公開講座

ミドル・シニア向け 日常英会話 リ・ラーニング NO.1~3

講師 & ワークショップ ファシリテーター:
秋田 貴美子
愛知県立大学 外国語学部 国際関係学科 教授

経歴:2011年～現在、愛知県立大学外国語学部国際関係学科に在籍し、2015～2019年、米国フロリダ州セントラルフロリダ大学に留学。2002～2005年米国インディアナ州インディアナポリス大学に留学。その他、日本の大学や企業にて豊富な英語教育経験あり。

対象:一般（ミドル・シニア、特に、日常英会話の表現を学びたい方、しばらく英語から離れて再度学びたい方、お子様の英会話の指導に迷われる方）

申し込み:愛知県立大学 地域連携センターWebサイト専用ページより申し込みください。

Webサイト:
<https://www.kit.ac.jp/edu/edu-int/center/>

問い合わせ先:
愛知県立大学 地域連携センター
〒466-8601 愛知県長久手市長久手
Tel: 0501-76-0453

Content 内容
1960年代の日本の人気漫画を教材とし、日常英会話を学習します。また、漫画に登場する生活、文化、人間関係、ジェンダーに関して、1960年代と現代を比較し、変化した点を皆さんと英語でdiscussionします。

WHEN 開催日時
No.1 2022年5月29日（日）10～12時
discussion focus: 英国の中のジェンダー関係
No.2 2022年6月26日（日）10～12時
discussion focus: 英国の中の異文化描写
No.3 2022年9月19日（月・祝）10～12時
英国の時代背景、異文化描写、ジェンダー関係、変化した点を皆さんと英語でdiscussionします。

WHERE 場所
愛知県立大学長久手キャンパス
学術文化交流センター2階 文化交流室A
リニモ「栄・地球博記念公園駅」南出口より徒歩8分

【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「生涯発達研究所講演会
(多様性が生きるインクルーシブ保育と子どもの育ち)」
2. 申請者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科 准教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター、
瀬戸市教育部学校教育課、
瀬戸市児童発達支援センター（発達支援室））
4. 開催日時：令和4(2022)年9月19日（月・祝） 13:30～15:30
5. 会場：オンライン ※台風接近のため対面開催は中止
6. 講師：浜谷 直人 氏（東京都立大学 名誉教授）
7. 参加者数：113名

【概要】

講師は東京在住で大型台風が接近したため、講師と参加者の安全面を考え、オンラインでの開催となった。講師からは「子どもの権利」と「多様性」をキーワードに、理論的な話からファンタジーなど保育現場で使われている実践例まで紹介しながら、インクルーシブ保育の実現が必要とされていることを講演していただいた

【講座の様子】



【チラシ】

 愛知県立大学
Aichi Prefectural University

生涯発達研究所講演会
多様性が生きるインクルーシブ保育
と子どもの育ち

多様な背景を持つ子どもが増えるなか、その多様性が子どもの育ちを保障するインクルーシブ保育は、保育現場における喫緊の課題としてそのありようが模索されています。事例を交えつつ、インクルーシブ保育の考え方や、保育における子どもの育ちについて、講演いただきます。

講師 浜谷 直人 氏
東京都立大学 名誉教授

日時 2022年 9月 19日（月・祝）
13:30～15:30

場所 愛知県立大学（オンライン併用）
学術文化交流センター（K棟）地下1階 多目的ホール

参加費 無料 定員 会場80名
オンライン100名

申込締め切り 9月14日（水）
愛知県立大学地域連携センターの
ホームページよりお申込みください
(<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalalliances/0011321.html>)

お問い合わせ先
愛知県立大学 研究支援・地域連携課
メール renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

共催 愛知県立大学（生涯発達研究所、地域連携センター）
瀬戸市教育委員会学校教育課、瀬戸市児童発達支援センター（発達支援室）

申込ページはこちら 

令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開シンポジウム「いま世界で起きていること
ーポピュリズムと向き合う」
2. 申請者：柴田 陽一（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 准教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部・人間の尊厳と平和のための人文社会
研究所・地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年10月15日（土） 13:30～16:30
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201教室／オンライン
6. 講師：水島 治郎 氏（千葉大学社会科学研究院 教授）
7. コメント：高橋 秀寿 氏（立命館大学文学部 教授）
川畑 博昭（愛知県立大学日本文化学部 教授）
8. 参加者数：171名（会場：77名、オンライン：94名）

【概要】

水島氏の講演「ポピュリズムと変容するデモクラシー」は、世界各地でポピュリズムと形容される現象が広く現出しているにもかかわらず、いっこうに分かりづらい言葉であるポピュリズムを成立背景、欧米各国での展開、日本への影響に触れつつ解説するものであった。それを受け、高橋氏はドイツ、川畑氏はペルーとウズベキスタンとそれぞれがフィールドとしてきた国の事例からポピュリズムを論じ、コメントとした。短い休憩を挟んだ後、まず水島氏からコメントーター両氏へのリプライを行い、続いて会場およびオンライン参加者からの質問に応じた。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

- 事業名称：2022年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー
「ロシア・ウクライナ戦争の要因と展望」
- 申請者：奥野 良知
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
- 運営種別：共催 (愛知県立大学世界史研究会／地域連携センター)
- 開催日時：令和4(2022)年11月5日(土) 16:00～18:00
- 会場：愛知県立大学サテライトキャンパス／オンライン
- 講師：松寄 英也 氏 (津田塾大学学芸学部国際関係学科 講師)
- 司会：奥野 良知
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
- 参加者数：113名 (会場：19名、オンライン：94名)

【概要】

講師にウクライナ・モルドヴァ現代政治史、比較政治を専門とする津田塾大学の松寄 英也氏をお招きし、セミナーを開催した。ロシア・ウクライナ戦争の経緯を振り返った後で、ロシア軍に徹底抗戦しているウクライナに注目し、ウクライナはどのような安全保障認識を持っているのかということを、語っていただいた。

【チラシ】

**2022年度 第1回愛知県立大学世界史セミナー
ロシア・ウクライナ戦争の要因と展望**

2022年2月24日にロシアがウクライナを軍事侵襲してから、半年以上が経過しました。欧米諸国は、ロシアに対して経済制裁を科し、ウクライナに對しては大規模な軍事支援を実施しながら、ロシアがウクライナを一途に戦いを展開しています。ロシア・ウクライナ戦争は現在進行形であり、今後の動向は注目を集めています。講演会では、ロシア・ウクライナ戦争の経緯を振り返った上で、ロシア軍に徹底抗戦しているウクライナに注目し、ウクライナはどのような安全保障認識を持っているのかを考察します。

講師：松寄 英也 氏
津田塾大学学芸学部国際関係学科 講師
ロシア・ウクライナ戦争の経緯を振り返った上で、ロシア軍に徹底抗戦しているウクライナに注目し、ウクライナはどのような安全保障認識を持っているのかを考察します。

■日時：2022年11月5日(土) 16:00～18:00 (開場15:30)
■場所：① 愛知県立大学サテライトキャンパス (定員30名)
② オンライン (Zoomウェビナー) (定員100名)

【申込方法】
愛知県立大学 地域連携センター #60フロアより
お申し込みください。
URL: <http://www.aic.ac.jp/sei/kyouiku/>
(定員になり次第、申込を締め切ります。)

参加費無料

お問い合わせ：
愛知県立大学 地域連携センター #60フロアより
TEL: 052-851-1158 FAX: 052-851-1159
Eメール: kyouiku@aic.ac.jp

【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

- 事業名称：公開シンポジウム「学生主体の大学広報活動：国際関係学科10年の取り組みの検討」
- 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
- 運営種別：共催（愛知県立大学外国語学部国際関係学科シンポジウム実行委員会・外国語学部国際関係学科学生広報部（ブログ委員会）・地域連携センター）
- 開催日時：令和4(2022)年11月19日（土） 13:30～15:10
- 会場：愛知県立大学長久手キャンパス H棟 H005 教室／オンライン
- 登壇者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
松野 佑子・石井 俊・河島 健太・橋本 果織・清水 優花・多田 隼人・
白井（宮原）杏奈・坪井 佑介（愛知県立大学 卒業生）
飯間 有紀子・赤塚 まひろ・木下 涼美（愛知県立大学 在学生）
- 参加者数：44名（会場15名、オンライン29名）

【概要】

愛知県立大学外国語学部国際関係学科は、2012年に「公式学生ブログ」を発足させ、学生が主体的に学科の紹介を行う広報を展開してきた。本シンポジウムでは、学生主体の広報活動の10年の歩みを振り返り、今後の魅力的な大学広報のあり方について検討した。

【講座の様子】



【チラシ】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「ポリフォニー的世界への窓Ⅰ 朝鮮学校と日本社会」
2. 申請者：井戸 聡（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部・人間の尊厳と平和のための人文社会研究所・地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年11月23日（水・祝） 13:30～16:50
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S201教室
6. 講師：中村 一成 氏（ジャーナリスト）
金 銘愛 氏（弁護士）
陳 聖華 氏（元在日本朝鮮留学生同盟）
7. 参加者数：80名（一般・学生・教職員）

【概要】

「朝鮮学校と日本社会」と題して、朝鮮学校とそれを取り巻く日本社会について学び考えるための講演会として企画・開催された。京都朝鮮学校襲撃事件や朝鮮学校が無償化の対象外とされた排除の問題をめぐる愛知朝鮮学校無償化裁判、またそうした社会状況下で生きることなどについて、ジャーナリストの中村一成さん、弁護士の金銘愛さん、元日本朝鮮留学生同盟の卒業生である陳聖華さんの御三方にご登壇頂き、お話を伺った。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座 「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体
・・・建築家を招く「2022年の立原道造／建築の快楽」
2. 申請者：宮崎 真素美（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学不安と生の研究会・地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年12月3日（土） 13:30～15:30
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス S棟 S101教室／オンライン
6. 講師：鈴木 了二氏（早稲田大学 荣誉フェロー・名誉教授）
7. 参加者数：168名（会場42名、オンライン126名）

【概要】

詩人であり建築家でもあった立原道造の詩と建築、抽象と具象のあわいを、講演者鈴木了二氏の建築を中心とした作品群「物質試行」との共振から描きだした画期的な内容であった。

【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「文化財レスキュー・修復・防災の人材育成
水損資料をレスキューする方途を学ぶ」
2. 申請者：服部 亜由未（愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 准教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学日本文化学部・人間の尊厳と平和のための人文社会
研究所・地域連携センター）
4. 開催日時：令和4(2022)年12月4日（日） 13:30～16:30
5. 会場：愛知県立大学長久手キャンパス K棟 多目的ホール
6. 講師：松下 正和 氏（神戸大学地域連携推進本部 特命准教授）
7. 参加者数：50名（一般・学生・教員）

【概要】

第1部では「民間所在資料をレスキューする意義」、「水濡れ紙資料の応急処置法」、「災害に遭う前に出来ること、発災直後からでも出来ること」に関して松下先生に講義いただき、第2部のワークショップでは、松下先生の指導のもと、各グループで実際に水損資料の応急処置に取り組んだ。

【講座の様子】



【チラシ】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

- 事業名称：公開講座「インドネシア現地経済事情講習会
新型コロナウイルスの影響をインドネシア経済は克服できたのか」
- 申請者：小座野 八光
(愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授)
- 運営種別：共催（東南アジア学会／地域連携センター）
- 開催日時：令和4(2022)年12月16日（金） 18:00～20:00
- 会場：オンライン
- 講師：松井 和久 氏
(愛知県立大学 客員共同研究員・元 JETRO アジア経済研究所 主任研究員)
- 参加者数：69名

【概要】

JETRO アジア経済研究所の主任研究員として長く東南アジア研究の第一線に従事し、東京外国語大学などの教壇にも立ってきた本学客員、松井和久氏により、コロナ禍インドネシアの最新経済事情についての解説が行われた。

【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業公開講座
インドネシア現地経済事情講習会
新型コロナウイルスの影響を
インドネシア経済は克服できたのか

日時 2022年12月16日（金）
18:00～20:00

形式 オンライン開催（Zoomウェビナー）
定員100名
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。

講師 愛知県立大学 客員共同研究員
元JETROアジア経済研究所主任研究員
松井和久 氏

■募集期間：2022年12月13日（火）まで
■申込方法：愛知県立大学地域連携センターWebサイトより
お申し込みください。
<https://www.bur.ac.jp/rekai/regional/alliances/0012021.html>

共催：東南アジア学会
愛知県立大学 地域連携センター

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール：nenkei@bur.ac.jp

【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「もっと知りたいインドネシア語講座（初～中級）」
2. 申請者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授）
3. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
4. 開催日時：令和5(2023)年1月24日（火）～27日（金） 各日 18:00～20:00
5. 会場：オンライン
6. 講師：高地 薫 氏
(神田外語大学外国語学部 准教授・愛知県立大学客員共同研究員)
7. 参加者数：45名

【概要】

経済成長著しいインドネシアと「ものづくり県」愛知の関係深化に資するべく、インドネシア語の基礎構造を集中的に学び、受講者各自のニーズに合わせてさらに展開させていくべく、最低限のプラットフォームの提供を目指す試みとして、本講座が行われた。

【チラシ】



愛知県立大学 地域連携事業公開講座
**もっと知りたい
インドネシア語講座**
(初～中級)

経済成長著しいインドネシアと「ものづくり県」愛知の関係は深く、企業も高い関心を寄せています。本講座では、インドネシア語の構造を基礎から集中的に学び、さまざまなビジネスシーンなど、受講者それぞれのニーズに合わせてさらに展開させていくための、確実なプラットフォームを提供します。

■日時 令和5年1月24日(火)～27日(金)
18:00～20:00
※4日連続の集中講座です。

■場所 オンライン開催 (Zoomウェビナー)
※対面式会場はありませんので、ご注意ください。

■講師 高地 薫 氏
(神田外語大学 外国語学部 准教授・愛知県立大学 客員共同研究員)

【申込締切】：令和5年1月19日（木）まで
【申込方法】：下記、愛知県立大学地域連携センター Webサイトよりお申し込みください。
<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/regionalalliances/0012023.html>

【問い合わせ】
愛知県立大学 学術情報部 研究支援・地域連携課
メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：公開講座「第5回 国際セミナー 2023年、世界の展望」
2. 申請者：奥野 良知
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
3. 運営種別：主催 (愛知県立大学地域連携センター)
4. 開催日時：令和5(2023)年1月27日(金) 18:00～20:00
5. 会場：オンライン
6. 講師：西山 美久氏 (北海道大学国際連携機構 特任助教)
半谷 史郎 (愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授)
白谷 望
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 准教授)
鈴木 隆 (愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授)
7. 司会：松田 恵子氏 (エフエムとよた株式会社)
8. コーディネーター：奥野 良知
(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授)
9. 参加者数：91名

【概要】

ビジネスパーソンを対象に、2022年の世界の回顧と2023年の世界の展望についての公開講座を実施した。今回は、ロシア・ウクライナ戦争に焦点を当て、ウクライナの専門家である北海道大学の西山美久氏が講演を行ったあと、本学の教授陣からそれぞれロシア、中東・北アフリカ諸国、中国からの視点でロシア・ウクライナ戦争について講演した。

【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業公開講座
第5回 国際セミナー
2023年、世界の展望

【開催日時】
2023年1月27日(金)18:00～20:00

【開催方法】
オンライン開催 (Zoomウェビナー)
ビジネスパーソンを対象に、2022年の世界の回顧と2023年の世界の展望についての公開講座を行います。

講師

- ◆ 西山 美久氏 (北海道大学国際連携機構 特任助教)
ウクライナ侵攻とロシアの政治社会情勢
- ◆ 半谷 史郎 (愛知県立大学外国語学部 教授)
ロシア研究者の憂鬱:ウクライナ侵攻をめぐる私的雑感
- ◆ 白谷 望 (愛知県立大学外国語学部 准教授)
中東・北アフリカ諸国から見るロシア・ウクライナ戦争
- ◆ 鈴木 隆 (愛知県立大学外国語学部 准教授)
ロシア・ウクライナ戦争に対する中国の学習と「教訓」

【コーディネーター】奥野 良知 (愛知県立大学外国語学部 教授)

【申込方法】愛知県立大学地域連携センターWebサイトにアクセスいただき「第5回 国際セミナー 2023年、世界の展望」より所定の申込フォームに情報をご入力ください。
<https://www.cul.ac.jp/cul/1484/Report/2023/01/2023.html>

【参加費】 無料

【問い合わせ】
愛知県立大学
学務情報部 研究支援・地域連携課
メール: research@cul.ac.jp

主催：愛知県立大学地域連携センター

【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：2022年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー
「18世紀前半イギリスの鉄調達：外交と植民地政策」
2. 申請者：奥野 良知（愛知県立大学 外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
3. 運営種別：共催（世界史研究会／地域連携センター）
4. 開催日時：令和5(2023)年2月18日（土） 16:00～18:00
5. 会場：愛知県立大学サテライトキャンパス／オンライン
6. 講師：日尾野 裕一（愛知県立大学 外国語学部 英米学科 准教授）
7. 司会：松田 恵子 氏（エフエムとよた株式会社）
8. コーディネーター：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授）
9. 参加者数：70名（会場：18名、オンライン：52名）

【概要】

18世紀前半のイギリスの資源調達について、鉄を対象に北欧と北米植民地という二つの地域に焦点を当てながら当時の政策について、講座を開催した。

【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業

2022年度 第2回愛知県立大学世界史セミナー
18世紀前半イギリスの鉄調達
外交と植民地政策

現在の教科書ではロシアによるウクライナ侵襲に伴い天然ガスの資源調達不安に直面しています。今世紀前半には、戦争による資源の調達不安は歴史の舞台でも見られました。その際には、資源調達の手段の多岐にわたる調整がなされました。今回の講演では、18世紀前半のヨーロッパ国際情勢に目を向け、鉄という資源、軍事に必要とされた物資と外交関係による南北貿易に発展した鉄のイギリスの需要を見ていきます。大航海時代まで視野を広げて資源調達への対応を捉えるイギリスを通じて、資源調達の多岐にわたる資源の調達手段への対応の歴史を捉えます。

講師 日尾野 裕一 准教授
愛知県立大学 外国語学部 英米学科

日時 2023年2月18日(土) 16:00～18:00 (開場15:30)

場所 ①愛知県立大学サテライトキャンパス (定員30名)
名古屋市中村区名駅4丁目4-3B
愛知県立大学サテライトセンター「ワイニングあいり」15階
②オンライン (Zoom) (定員100名)

【申込方法】
愛知県立大学 地域連携センターWebサイトより
申し込みください。
URL: <http://www.aic.ac.jp/>
URL: <https://aichu10011.zoom.us/j/90812022020>
(登録になり、登録・参加費を事前にお知らせします。)

※申し込み、登録・参加費を事前にお知らせください。
※お申し込みは、登録・参加費を事前にお知らせください。
※お申し込みは、登録・参加費を事前にお知らせください。

【QRコード】
愛知県立大学 地域連携センター Webサイト
URL: <http://www.aic.ac.jp/>
URL: <https://aichu10011.zoom.us/j/90812022020>

主催：愛知県立大学 地域連携センター、愛知県立大学サテライトセンター

【講座の様子】



【講座の様子】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

- 事業名称：愛知県立大学映像制作ワークショップ10周年記念事業
シンポジウム「映像人類学と大学教育：実践事例報告と今後の展望」
- 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
- 運営種別：共催（映像制作ワークショップ10周年記念事業実行委員会／多文化共生
研究所／中部人類学談話会（日本文化人類学会中部地区研究懇談会）
協力（愛知県立大学地域連携センター）
- 開催日時：令和5(2023)年2月14日（火） 16:00～18:00
- 会場：オンライン
- 講師：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
中村 真里絵（愛知淑徳大学 助教）
森田 良成（桃山学院大学 准教授）
南出 和余（神戸女学院大学 准教授）
星野 佐和（京都大学大学院 博士後期課程大学院生／
愛知県立大学 国際関係学科卒業生）
中山（味村） 由衣（岐阜県川辺町職員／
愛知県立大学スペイン語圏専攻卒業生）
- 参加者数：約120名（うち本学学生14名、本学教職員6名、学外一般参加者100名）

【概要】

今回のシンポジウムでは、これまでの映像制作教育の取り組みを振り返るとともに、複数の大学における教育の実践事例報告や、実習経験者のメッセージをまじえて、達成と課題を検討した。これらをもとに、最新の映像人類学の潮流をふまえた、新しい大学教育のあり方を展望した。

【講座の様子】



【チラシ】



令和4(2022)年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：第2回フランス語圏アフリカ研究セミナー
2. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学多文化共生研究所／日本アフリカ学会中部支部）
協力（愛知県立大学地域連携センター）
4. 開催日時：令和5(2023)年3月26日（日）14:00~17:30
5. 会場：愛知県立大学サテライトキャンパス（ウィンクあいち15階）
6. 講師：Christian Otchia（名古屋大学大学院国際開発研究科 准教授）
亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
Georges Bosakaibo（南山大学総合政策学部総合政策学科 准教授）
Florence Kouame（名古屋大学）
Jean-Fidèle Sie（名古屋大学）
7. 参加者数：20名

【概要】

今回のセミナーでは、言語、文化、開発、国際協力、多国間外交、政治、経済と多分野にわたる内容を取り扱った。
フランス語でのアフリカ諸国・地域に関する総合的な人文・社会科学の学術交流と社会還元を行う良い機会となった。

【講座の様子】



4. 公開講座
(4) 地域連携事業
＜地域貢献活動＞

令和 4(2022) 年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」
2. 申請者：亀井 伸孝（愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授）
3. 運営種別：共催（愛知県立大学国際関係学科「旅の写真展」実行委員会・地域連携センター）
4. 開催日時：令和 4(2022)年 11 月 1 日（火）～29 日（火）
（15 日（火）に作品の一部入れ替え）
5. 会場：リニモテラス公益施設
6. 参加者数：公共スペースでの公開展示につき、観覧者数不明

【概 要】

愛知県立大学外国語学部国際関係学科は、特色ある行事として、毎年秋に「旅の写真展」を開催している。留学や調査、旅行で多くの国ぐにを訪れる学生たちが、自慢の写真を持ち寄り、写真を展示する。写真展は 2011 年秋に始まり、今年で発足から 11 年となった。これまでの累計作品数は計 963 点に上り、撮影地は世界 83 の国・地域に及ぶ。

今年度は、身近な風景の中から魅力的な被写体を見付けるフィールドワーク実習（撮影会）を行い、また、学生各自が各地で撮影してきた作品も持ち寄ることで、38 人による 8 の国・地域で撮影された作品 97 点を展示することができた。

【会場の様子】



（写真はいずれも、令和 4(2022)年 11 月 1 日、会場にて主催者撮影）

5. 自治体等との連携

(1) 愛知県

あいち認知症パートナー大学

平成 29(2017)年に愛知県が策定した「あいちオレンジタウン構想第1期アクションプラン」に基づき、愛知県とともに認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む大学として、平成 30(2018)年に「あいち認知症パートナー宣言」をし「あいち認知症パートナー大学」として登録されました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながら認知症の方々やご家族をどのように支援できるのか、学生や行政、地域の方々と共に考え取組みを行いました。

○認知症カフェ「喫茶オレンジ」

- ・平成 30(2018)年度から長久手市社会福祉協議会による長久手の認知症カフェ「喫茶オレンジ」の運営に協力しています。毎月の認知症カフェ開催前に運営会議を開催し、教員・職員が参加して長久手市および長久手市社会福祉協議会と意見交換を重ねながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしながらどのように運営するか、カフェの中のプログラムの充実や利用者を増やす取り組みなどを検討しました。
- ・十分な間隔が保てるように机や座席を配置し、検温・消毒・マスクの着用等対策を十分に行ったうえで、認知症カフェを月1回（計12回）開催しました。学生も感染対策を万全にした上で対面で参加をしました。学生延べ34名が参加し、認知症当事者を含む市民の方々との交流を楽しみ、認知症予防のための体操の見本動作を学生が行うなど、場を盛り上げました。今年度後半からは学生に広報スタッフを募り、来年度の認知症カフェのチラシ制作の協力も行いました。



【認知症カフェ「喫茶オレンジ」の様子】

○オレンジ本棚

令和元(2019)年度から学術研究情報センター長久手キャンパス図書館内に「オレンジ本棚」（認知症関連図書コーナー）を設置しています。新しい書籍や視聴覚資料を随時本棚に展示し、認知症を学生にも「じぶんごと」として理解してもらえるよう、啓発をしています。

「若年性認知症のある方と語ろう」 実施結果

1. 事業名称：若年性認知症のある方と語ろう ～届け、ヤングケアラーへの支援～
2. 運営種別：共催（愛知県立大学、長久手市、社会福祉法人 百千鳥福祉会、長久手市社会福祉協議会）
3. 開催日時：令和 4(2022)年 10 月 12 日（水） 13：30～15：00
4. 会 場：長久手キャンパス S 棟 S201 教室
5. 講 師：【第一部】近藤 葉子 氏（愛知県認知症希望大使）
【第二部】竹田 晴幸 氏（社会福祉法人百千鳥福祉会 理事長）
6. 参加者数：74 名（一般：57 名、学生：12 名、教職員：5 名）

【概 要】

第一部では「認知症と共に生きる」と題し、講師の近藤葉子氏と作業療法士の齊藤氏との対談形式で進行した。若年性認知症について話を伺いながら、若年性認知症に気が付いたきっかけやそのときに困っていたこと、本人にしかわからない気持ちを共有し、若年性認知症の理解を深めた。第二部は「若年性認知症とヤングケアラーについて」と題し、講師の竹田晴幸氏が講演した。若年性認知症の子ども世代と重なる大学生に向けて、ヤングケアラーについての説明と、今困っている人へのメッセージを送った。

【講座の様子】



【講座の様子】



【チラシ】



「認知症サポーター養成講座」 実施結果

1. 事業名称：認知症サポーター養成講座～金融機関での取り組みも紹介～
2. 運営種別：共催（長久手市・長久手市社会福祉協議会、愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 4(2022)年 10 月 26 日（水） 13：30～15：00
4. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール
5. 講 師：木野 健二 氏（愛知信用金庫顧客支援部 副部長・キャラバンメイト）
6. 参加者数：19 名（学生・一般・教職員）

【概 要】

本学が「あいち認知症パートナー大学」として、「認知症に理解の深いまちづくり」の実現に向けての取り組みの一環として「認知症サポーター養成講座」を開催した。

認知症サポーターとは「認知症について正しく理解し認知症の方や家族に対して温かい目で見守る応援者」のことである。講師の木野氏からは「認知症はとても身近な病気」という導入から始まり、認知症の症状について分かりやすく説明があった。

本講座の開催で、本学から新たに 19 名の認知症サポーターが誕生した。

【講座の様子】



【講座の様子】



【チラシ】

**あなたも
認知症サポーターに
なりませんか？**

**「認知症サポーター養成講座
～金融機関での取り組みも紹介～」**

認知症サポーターとは？
認知症を正しく理解して、地域の認知症の方や家族を共に見守る「応援隊」です。今回は、金融機関の方を講師としてお招きし、企業における認知症への関わりについてもお話していただきます。

・日時 令和4年10月26日（水）13：30～15：00
・場所 長久手キャンパス K棟 多目的ホール
・講師 木野 健二氏
 （愛知信用金庫 顧客支援部 副部長・キャラバンメイト）
・定員 50名（先着順、定員に達し次第受付終了）
・申込み方法 10月24日（月）までに、メールでお申込みください。
 メールのお申込に「認知症サポーター養成講座申込」を本文に「認知症サポーター養成講座」を明記の上、以下のメールアドレスに送信してください。

受講料無料
 ●メールアドレス：renkei@burachipou.ac.jp

オレンジリングをご存知ですか？
 オレンジリングは、認知症サポーターの目印です。江戸時代の薬工・漆器職人木野氏、夕日に映える秋の葉の色からひらめいてつくられた赤地青波の「ヨロツバ」にも輸出され、世界的に有名になりました。同じように、「日本発祥」の「オレンジリング」が、世界の至るところで「認知症サポーター」の証として認められれば、との思いが伝わりました。あなたもこの証になることで、「サポーター」という意味を持つことができます。
愛知大で「認知症サポーター養成講座」を受講されたみなさまにオレンジリングをお渡しします。

【問い合わせ】愛知信用金庫 顧客支援部・電話相談
 TEL：0561-776-8443 メールアドレス：renkei@burachipou.ac.jp
 共催：愛知信用金庫 顧客支援部・長久手市・長久手市社会福祉協議会

令和4(2022)年度 「あいちシルバーカレッジ専門コース」 実施結果

テーマ 「地域における子ども支援」
 会 場 愛知県社会福祉会館
 参加者 38 名（あいちシルバーカレッジ卒業生）
 実施日程および内容

実施日	講座内容
令和4(2022)年 12月14日(水)	・テーマ「愛知県における高齢社会の現状」 講師：愛知県福祉局高齢福祉課生きがい・福祉医療グループ課長補佐 鈴木 結香子氏 ・テーマ「愛知県の子ども支援施策」 講師：愛知県福祉局地域福祉課子ども未来応援グループ課長補佐 鮎川 征一郎氏 ・テーマ「地域における子育て支援センターの役割」 講師：刈谷市中央子育てセンターセンター長 沓名 直子 氏
令和4(2022)年 12月23日(金)	・フィールドワーク1：子ども食堂関係団体へ3か所に分散して現地視察 ①フードバンク愛知(北名古屋市) ②NPO 法人エムトゥエム(瀬戸市) ③小幡緑地冒険遊び場の会つなしょ(名古屋市守山区) ・グループディスカッション：愛知県立大学の学生との交流会 テーマ：「子どもの居場所について大学生と共に考える」
令和5(2023)年 1月13日(金)	・テーマ「県下のボランティア活動、学習支援ボランティアの現状について」 講師：愛知県社会福祉協議会地域福祉部部長 西尾 浩志氏 ・テーマ「あいち子ども食堂ネットワークの現状について」 講師：あいち子ども食堂ネットワーク相談役 杉崎 伊津子氏 ・テーマ「子どもの学習支援活動の実態」 講師：学習支援受託団体NPO 法人 アスクネット城取 洋二氏
令和5(2023)年 1月18日(水)	・テーマ「発達障害とは、特別支援教育等支援と親子支援」 講師：一般社団法人 BIG BRIDGE 代表 大橋 眞由美氏 ・フィールドワーク2：子育て支援拠点へ3か所に分散して現地視察 ①NPO 法人まめっこ(名古屋市北区) ②NPO 法人わが屋流子育て応援団ふりあん(名古屋市) ③NPO 法人ママライフバランス(名古屋市中川区)
令和5(2023)年 1月23日(月)	・テーマ「中間支援組織としての取り組み」 講師：NPO法人あいち・子どもNPOセンター ・テーマ「親子センターの活動概要、虐待防止」 講師：NPO法人 名古屋親子センター
令和5(2023)年 1月25日(水)	・テーマ「みずほみんなの食堂の活動」 講師：みずほみんなの食堂 代表 平野 真弓氏 ・テーマ「高齢者が子ども食堂に関わるわけ」 講師：愛知県立大学看護学部看護学科 准教授 牛島 佳代氏

【講座の様子】



【講座の様子】



「愛知県地域づくり活動フォーラム」 実施結果
(愛知県との共催)

1. 日 時：令和 5(2023)年 1 月 26 日（木） 13：30～16：00
2. 会 場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟 多目的ホール／オンライン
3. 参加者数：91 名（会場：26 名 オンライン：65 名）（県市町村職員、一般等）
4. 主 催：愛知県、愛知県地域づくり団体交流協議会（※）、愛知県立大学
※県内地域づくり団体相互間の交流の推進や地域づくり団体への情報提供を
目的として平成 6(1994)年に県が設立
5. 当日のプログラム：
 - ① 愛知県立大学 学生グループ活動発表
テーマ：外国人住民の社会・法制度に関するリテラシー向上のための教材開発
ー外国人・日本人相互交流促進を目指した実践研究ー
発 表：ながくて見つけた！
 - ② 令和 4 (2022)年度愛知県地域づくり活動表彰式開催報告及び団体紹介
《表彰団体》
大浜てらまち案内人の会（碧南市）
ふれあい花の会（岩倉市）
武豊町観光ガイドボランティア協会（武豊町）
 - ③ 講演
テーマ：それって役所だけでできますか？住民だけでできますか？
ー官民連携・住民協働プロジェクトのつくりかたー
講 師：秋田 大介 氏
(神戸市環境局環境創造課長、一般社団法人アスミー代表理事)

【会場の様子】



5. 自治体等との連携

(2) 長久手市

長久手市大学連携調整会議への参加について

長久手市と市内 4 大学（愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学）は、まちづくりにおいて、大学が有する知的資源や特色を活かし、学術研究の場や機会を大学に提供するなど、相互の発展や充実に向けて組織的な連携を深めることにより、「人が輝き 緑があふれる 交流都市」としてふさわしい地域社会づくりに資することを目的として、平成 24(2012)年 12 月 20 日に長久手市大学連携推進協議会を設置しました。

平成 30(2018)年 3 月には、長久手市において「長久手市大学連携推進ビジョン 4U」が策定され、長久手市内 4 大学とその学生・市民・企業などとの地域プラットフォームを築いて最大限の相乗効果を発揮させるため、令和 2(2020)年 4 月 1 日に長久手市大学連携推進協議会を発展させた長久手市大学連携調整会議を設置しました。

本会議の主旨に基づき、令和 4(2022)年度は以下の事業を実施いたしました。

○長久手市大学連携調整会議の開催

令和 4(2022)年 6 月 1 日（金） オンライン開催

○ワーキングの実施

愛知県立芸術大学 令和 4(2022)年 8 月 20 日（土）

「町づくりのデザイン公開授業」

愛知医科大学 令和 4(2022)年 8 月 27 日（土）

「学生による BLS オンライン講習会」

愛知淑徳大学 令和 4(2022)年 10 月 30 日（日）

「SDGs×エンターテイメント みんなで SDGs を楽しもう」

愛知県立大学 令和 4(2022)年 11 月 19 日（土）

「防災サバイバルフェス 2022」

報告会&ごちゃまぜワークショップ（オンライン） 令和 5(2023)年 2 月 3 日（金）

○その他関係各課からの依頼の窓口業務

長久手市大学連携 4U ワーキング
「防災サバイバルフェス 2022 防災を考える」実施結果

1. 開催日時：令和 4(2022)年 11 月 19 日（土） 10：00～13：00
2. 開催場所：リニモテラス公益施設
3. 主 催：長久手市
長久手市交際交流協会
協 力：愛知県立大学、尾三消防本部
長久手市社会福祉協議会
防災ボランティアコーディネーターながくて
4. 実施内容：緊急時、避難時の対応方法を在住外国人に分かり易く理解してもらうため、スタンプラリーを通じて防災に関する知識を得る体験型イベントを開催。
 - ・ 防災 DVD 上映
 - ・ 初期消火訓練、煙体験訓練
 - ・ AED による救命活動、負傷者のトリアージ
 - ・ 避難所の開設場所の確認
 - ・ 炊き出し体験
 - ・ お米、食料配布

【イベントの様子】



防災サバイバルフェス
2022

数量限定のお米プレゼント！
申込みは、QRコードから！

防災を考える

長久手市周辺在住の外国人、留学生と共に知る、体験する

2022年 11月19日(土)
リニモテラス公益施設
10：00～13：00 **入場無料**

主催：長久手市
長久手市国際交流協会
協力：愛知県立大学、尾三消防本部
長久手市社会福祉協議会
防災ボランティアコーディネーター
ながくて

この事業の一部は、長久手市大学連携推進ビジョン
4Uの推進に関する事業で実施しています。

5. 自治体等との連携

(3) 知立市

「知立市の課題を聴く会」 実施結果

1. 日 時：令和 4(2022)年 8 月 2 日（火） 12：10～13：00
2. 会 場：オンライン
3. 参加者数：23 名（後日配信した動画視聴者数は 21 名）
4. 実施内容：

MAPU 活動(※)の一環として、知立市職員より「多文化共生」「DX」をテーマに、現在抱えている課題を直接聴く取り組みを行った。

※1 MAPU …

Meeting on A Problem-solving Unit 又は Make A Problem-solving Unit の略。
各団体の抱える課題を説明する様子を撮影し、オンラインで配信。学内で共有しながら課題解決を図る取り組み。

【配信の様子】



【チラシ】

愛知県立大学 地域連携センター
先生、学生の皆さん
助けてください

2022年度 MAPU 知立市×愛知県立大学
知立市の課題を聴く会

ゲスト：佐藤 浩二氏（知立市金融政策課）
松野 良平氏（知立市金融政策課）
司会進行：奥田 隆史（愛知県立大学健康科学部教授 地域連携センター長）

共催：知立市金融政策課 愛知県立大学（地域連携センター）
知立市職員より「多文化共生」「DX」をテーマに、現在抱えている課題を直接お聞かせします。

2022年8月2日(火)12:10～

開催方法：オンライン(Zoomウェビナー)
事前にメール、LINEにて通知予定です。ご確認ください。
Zoomウェビナーには、12:09より入室可能です。

事前申し込み不要 対象：全教員、全学生

※MAPUとは…Meeting on A Problem-solving Unit, Make A Problem-solving Unitの略。
地域の課題を当事者から聞いた上で、各教員の知見を活用していく取り組みです。

【問い合わせ】
愛知県立大学 地域連携センター 地域連携課
〒463-1215 愛知県東海市大字宮崎122番1
メール：radan@hseu.ac.jp

【配信の様子】

現状について・・・

「デジタル田園都市国家構想の実現」や「スマートシティの実現」などの言葉にみられるように、地方自治体においてデジタル・ICT技術を活用した地域課題の解決が強く求められている。

↓

知立市においても、
・多文化共生
・介護（高齢者見守り等）
・医療（データの収集→健康増進に向けたアプローチの検討）
・観光
・交通 等・・・
デジタル技術を活用すれば課題の解決が見込めそうな（より良い市を目指す！）分野は多岐にわたる！

↓

しかし、専門家の知見を借りずに、システム業者、自治体職員【知立市においては、私（市役所勤務6年目での部署には異動1年目の素人）】で導入等を検討している現状では、どうしてもシステムありきの導入になる可能性が高いと危惧している。（課題解決のためのデジタル化ではなく、デジタル化することが目的となってしまう）

全国あらゆる自治体が同様の課題を抱えているため、問題解決のためのシステムは多数存在する。
（営業や事例で確認しています。）

5. 自治体等との連携

(4) 高大連携

令和4(2022)年度 「知の探究講座」(県教委事業) 実施結果 (高大連携事業)

講座名 「人の心を知る」
会 場 愛知県立大学長久手キャンパス K棟 小ホール、H棟 H204 教室、体育館
参加者 30名(県内高校からの希望者)

実施日程および内容

	実施日	講座内容
第1回	令和4(2022)年 8月23日(火)	1 ガイダンス 2 「学ぶ」人の心と認識
第2回	令和4(2022)年 8月24日(水)	3 人間の発達と進化 4 自己理解と他者理解
第3回	令和4(2022)年 8月25日(木)	5 他者の存在と心 6 美術を科学する
第4回	令和4(2022)年 8月26日(金)	7 身体活動と人の心 8 ストレスとこころの健康
第5回	令和4(2022)年 10月22日(土)	9 こころと社会の歴史 10 人の心と性格の測定
第6回	令和4(2022)年 10月29日(土)	11 報告に向けてのまとめと作業 12 講座別発表会

※時間は各日とも10:00~16:00

開講式 令和4(2022)年7月23日(土)(会場:名古屋工業大学 NITech Hall)
全体発表会 令和5(2023)年1月8日(土)(会場:豊田工業大学 豊田喜一郎記念ホール)

推進会議 第1回 令和4(2022)年5月11日(水) 愛知県東大手庁舎 生涯学習推進センター
第2回 令和5(2023)年1月26日(木) 愛知県東大手庁舎 生涯学習推進センター

【講座の様子】



5. 自治体等との連携

(5) その他

愛知工業大学（地域防災研究センター）との学生連携

○学校防災シンポジウム 2022「大学と地域防災」

1. 日 時：令和4(2022)年12月11日（日） 13:30～15:50
2. 開催方法：オンライン
3. 主 催：愛知工業大学地域防災研究センター
4. 共 催：岐阜大学、岐阜聖徳学園大学、愛知県立大学
5. 概 要：

基調講演「大学と地域、ともに防災を考える」 地域防災研究センター長 横田崇氏
パネルディスカッション「学生・大学と地域防災との結び方」

○学生大防災会議 2023

1. 日 時：令和5(2023)年3月8日（水） 13:00～16:00
2. 開催方法：オンライン
3. 主 催：愛知工業大学地域防災研究センター
4. 共 催：愛知県立大学
5. 後 援：中部地方整備局、名古屋地方気象台、愛知県、豊田市、
(一財)河川情報センター、日本赤十字社愛知県支部、
認定NPO法人日本防災士機構、認定NPO法人愛知ネット
6. 概 要：

学生、社会人メンバーからの活動報告やグループディスカッションが行われた。
また、本学からは奥田地域連携センター長が挨拶や講評を行った。

○相互情報提供

両センターのイベントを互いに広報している。

【愛知工業大学 地域防災研究センター】

- ・令和4(2022)年6月12日（日）
防災カフェ「愛知工業大学周辺の地形地質を知るまち歩き」
- ・令和4(2022)年9月13日（火）
オンライン発表会「地域防災研究センター 令和4年度成果発表会」
- ・令和5(2023)年2月18日（土）、2月19日（日）
「防災士養成研修講座」
本学から講師として看護学部看護学科 戸田由美子教授が登壇した。

【愛知県立大学 地域連携センター】

- ・令和4(2022)年10月12日(水)
「若年性認知症のある方と語ろう～届け、ヤングケアラーへの支援～」
- ・令和5(2023)年3月1日(水)～3月7日(火)
「愛県大アカデミックデイ 2022」

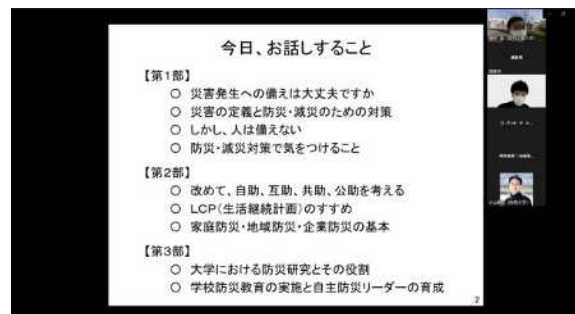
【チャシ】



【チラシ】



【オンライン開催の様子】



5. 自治体等との連携

(6) 連携協定

連携協定の締結

○愛知県立大学と公益財団法人あいち産業振興機構との連携協力に関する協定書

相互に緊密な連携協力と情報共有を図ることで、愛知県の産業振興及び地域課題の解決に寄与することを目的として、協定を締結しました。

(令和4(2022)年3月16日(水))



○愛知県立大学と知立市との連携協力に関する協定書

緊密な相互連携と協働による活動を推進することにより、両者の発展及び地域の活性化を図ることを目的として、協定を締結しました。

(令和5(2023)年2月20日(月))



○愛知県立大学と日進市教育委員会との連携協力に関する協定書

教育分野で相互に密接な連携協力を行うことにより、両者の教育・研究の充実と地域社会の発展に寄与することを目的として、協定を締結しました。

(令和5(2023)年3月23日(木))



○愛知県立大学と長久手市教育委員会との連携協力に関する協定書

教育分野で相互に密接な連携協力を行うことにより、両者の教育・研究の充実と地域社会の発展に寄与することを目的として、協定を締結しました。

(令和5(2023)年3月27日(月))



6. 参考資料

○地域連携センター ウェブサイト

ウェブサイトアドレス <https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>



地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等の情報を PC 版及びスマートフォン版で提供しており、申込が必要な講座については、申込手続を円滑に行っていただけるよう、講座申込フォームも開設しています。

今後も、より見やすく、分かりやすく講座情報等を提供するため、更なる内容の充実や利便性向上に努めてまいります。

当センター年報のアーカイブや地域連携研究シーズ集を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

➤ 年報

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/annualreport/index.html>



➤ 地域連携研究シーズ集

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/staff/index.html>



令和5(2023)年4月発行

編集・発行 愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3

電話:0561-76-8843

<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>